

I 市税の内訳

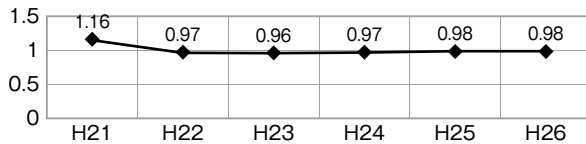
市税収入は、前年度と比べると4億1,322万円の増で、全体の86.6%を市民税および固定資産税で占めています。市民税は、3億5,755万円の増、固定資産税は、5,644万円の増となりました。



I 財政力指数 (0.98)

「財政力指数」とは、標準的な行政サービスを行うのに必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを表す数値で、「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

※愛知県内38市中 高浜市は14位の数値となっています。(愛知県内38市平均 0.95)



■特別会計 ※()内は前年比		
会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	35億2,736万円(+0.1%)	34億2,048万円(▲0.2%)
土地取得費	7,359万円(+38.0%)	3,026万円(+274.0%)
公共下水道事業	14億4,700万円(+13.3%)	14億1,173万円(+14.6%)
公共駐車場事業	8,132万円(+14.5%)	2,791万円(+35.9%)
介護保険	24億8,811万円(+4.4%)	24億3,393万円(+10.4%)
後期高齢者医療	4億4,580万円(+6.0%)	4億3,915万円(+6.4%)

※「特別会計」は、特定の事業を行う場合に一般会計と区別して設置しています。

I 主要施策事業

●基本目標 I

みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- ・市庁舎あり方公募事業 1,682万円
- ・アシタのたかほま研究事業 808万円

●基本目標 II

学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- ・子育て世帯臨時特例給付金給付事業 7,335万円
- ・ドラマ制作費補助金 200万円

●基本目標 III

明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう

- ・地区計画決定図書作成業務委託 1,700万円
- ・企業再投資促進補助金 6,336万円

●基本目標 IV

いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- ・臨時福祉給付金給付事業 7,230万円
- ・認知症予防体制構築業務委託 540万円

■企業会計(水道企業会計) ※()内は前年比		
	区分	決算額
収益的	収入	8億6,005万円(+8.5%)
	支出	7億3,220万円(+3.4%)
資本的	収入	7,898万円(+0.8%)
	支出	2億6,240万円(▲18.7%)
	補てん財源	1億8,342万円(▲24.9%)

※「補てん財源」とは、企業会計内で留保されている資金であり、資本的収支の不足額を補てんする財源です。

財政健全化の状況報告

財政悪化の早期発見・早期治療を行い、市が突然財政破綻してしまうことを防ぐため、財政の健全性を判断する指標の公表が義務づけられています。なお、高浜市はいずれの指標も健全な状態です。

指標	高浜市の比率	早期健全化基準	財政再生基準	結果	説明
実質赤字比率	— (赤字ではない)	13.54%	20.00%	健全	実質赤字比率とは、一般会計などの黒字・赤字を判断する指標で、家計でいえば、年収に対する赤字の割合を示したものです。
連結実質赤字比率	— (赤字ではない)	18.54%	30.00%	健全	連結実質赤字比率とは、実質赤字比率を、公営企業会計を含めた全会計に適用したものです。
実質公債費比率	2.1%	25.00%	35.00%	健全	実質公債費比率とは、家計でいえば、年収に対する年間の借金返済額の割合を示したものです。
将来負担比率	— (将来負担比率なし)	350.00%		健全	将来負担比率とは、家計でいえば、年収に対する将来見込まれる借金(全会計)の割合を示したものです。

- 早期健全化基準以上になると、財政健全化計画を策定するなど自主的な改善により財政の健全化を図ることになります。いわゆる、財政破綻の一手手前(イエローカード)の状態です。
- 財政再生基準以上になると、財政再生計画を策定するなど国の関与により財政の再生を図ることになります。いわゆる、財政破綻(レッドカード)の状態です。

問合せ先 財務グループ ☎52-1111 (内線306)

※詳しい情報は、市公式ホームページ (<http://www.city.takahama.lg.jp>) で閲覧できます。